

衛生

健康福祉局
衛生研究所
微生物課

村上 未歩

青森県南部町出身
平成27年度採用

主に、区役所の保健福祉センターなどで、食品衛生監視員や環境衛生監視員として、市内の食品事業者や公衆浴場・旅館などに対し、営業許可の審査や監視指導を行います。食の安全や住まいの衛生に関する市民からの相談に応じる業務に携わることもあります。また、衛生研究所や食品監視センターなどで調査・研究などの専門業務に従事することもあります。



細菌検査で守る、市民の健康。

新型コロナウイルス感染症の流行で保健・衛生面への関心が高まる中、市民の健康と快適な生活を衛生的視点から守るのが衛生職の役割です。太白区衛生課で食品事業者などの営業許可の審査や監視指導に従事してきた村上さんは、令和元年度から衛生研究所で、食品や水、糞便などに含まれる細菌の検査を担当しています。「保健所の収去検査や感染症関



係の検査、食中毒・有症苦情の原因物質究明のための検査などが主な業務内容です。例えば食中毒が発生した場合、各区の衛生課の職員が事業者に聞き取り調査などを行い、回収した検体を衛生研究所に持ち込み、衛生研究

所がその検体を検査します。市民と直接関わりがあるわけではありませんが、私たちの検査結果を基に各区の衛生課が事業者への指導・処分を検討するため、ミスのないよう常に責任を持って取り組んでいます」。検体を運ぶ側から、運ばれる側になった村上さん。「衛生課での業務の流れを把握していることで、検査依頼を受けたときに過去の経験を生かしたアドバイスが可能になります。業務内容は異なってもそれぞれどこかにつながっている、専門的で奥深い職種です」。

衛生職はほかにも、環境や水道など市の衛生に関わるさまざまな分野で活躍します。以前は主に食品衛生に携わっていた村上さんも、衛生研究所に来たことで職種としての多様性を知ることができたといいます。「今後は環境や感染症など、経験したことのない分野にも挑戦してみたい」と意気込みを語ってくれました。「衛生職の業務内容は多岐にわたり、希望の部署に必ず配属されるというわけではありませんが、実際にやってみると意外とおもしろく、やりがいのある仕事ばかり。常に学ぶ姿勢を忘れず、知識・技術の向上に努めていきたいと思っています」。



One day Schedule

- 8:30 出勤、係内打合せ
- 9:00 事務作業
(成績書作成、検査日程調整など)
- 11:00 検査準備
- 12:00 昼休憩
- 13:00 細菌検査
- 16:00 事務作業(検査結果まとめなど)
- 17:15 退勤

Private

休日は編み物や切り絵、UVレジンなど、趣味の手芸や工作を楽しんでいます。モノづくりは、作品が完成したときの達成感はもちろん、頭の中の理想の完成像にどうしたら近付けるか試行錯誤する工程も醍醐味の一つだと思います。